

編集後記

▼成寿二十一号をお届け致します。

一九八三年夏の創刊号から十年を経て二十一号となりました。毎号、伊藤三喜庵先生に表紙絵を飾っていたが、改めて創刊号から振り返ってみますと、感無量でございます。これも偏に檀信徒の皆様、善光寺に心をお寄せくださる方々のお力添えと、心から感謝申し上げます。

▼善光寺ニュースでもお伝えしましたが、「善光寺海外留学僧派遣育英会」の名称を「横浜善光寺留学僧育英会」と変更しました。留学僧は今までに18カ国47名を数えております。一寺院が始めたことではあります。次第に各方面から注目されてきており、その重責を感じますと共に、一層の努力をさせていただきた

いと思う日々でございます。

▼能登の総持寺祖院では、昨年八月に遷化された監院鷲見透玄老師の後に、鷲見老師と関わりの深い丹羽徹象老師が就任されました。善光寺育英会では丹羽老師を顧問にお迎え致しましたので、グラビアと本文で祖院を特集しました。

▼昨年十一月、スリランカ訪問の折に、大菩提会会堂で、ヘティガレー・パナティッサ大僧正にご紹介いただいてお会いしたエクスサランサー・R・プレーマダササ大統領は、五月一日、爆弾テロで暗殺されました。

半年前の大統領との固い握手を思うにつけ、あまりのショックな事件に、ただ驚くばかりです。心からご冥福をお祈り申し上げます。

▼三十年前の私との出逢いを綴ってくださった東郷敏氏の一文は、熱の

籠ったものです。第一部は次号も続きます。どうぞご期待ください。

▼次号の特集は中国です。道元禪師がご修行された天童寺を、佐藤俊明老師、黒田方丈が中国の留学僧・李幼麟師と共に拝登し、その記事を集めます。

▼7月23（金）、24（土）の両日は、本寺・栃木県光真寺の夏大祭です。参拝ご希望の方は善光寺事務局までお申し込みください。

▼盛夏を迎え、皆様には充分にご自愛くださいませ、日々を大切に過ごして参りましょう。

成寿 第二十一号

平成五年七月二十日発行

発行所 成寿山善光寺

横浜市港南区日野町一六〇四

電話 〇四五（八四五）一三七一

FAX 〇四五（八四六）二〇〇〇

印刷所 神奈川新聞社出版局



三
氏
庵





横浜善光寺